

東京都教職員研修センターでは、東京都教員研究生、大学院派遣研修の説明会や報告会を開催しています。詳細につきましては、所属長に御確認ください。

長期派遣研修説明会(8年度派遣)  
オンライン開催

開催時期: 令和7年3月上旬(大学院派遣)  
令和7年6月下旬(教員研究生)

○新教育大学大学院派遣研修、大学院設置基準第14条適用大学院派遣研修、教職大学院派遣研修、教員研究生について、各実施要綱や募集要項に基づき応募に関することや各教職大学院の特色等を説明します。

教職大学院説明会(8年度入学)

開催時期: 令和8年3月上旬

○各教職大学院の特色、カリキュラムの概要や施設等の説明を行うとともに教授や在学生の話を直接聞くことができます。なお、各教職大学院においても入学説明会を実施しています。詳細は各教職大学院へお問い合わせください。

東京都教員研究生  
カリキュラム開発研究発表会

開催時期: 令和8年2月下旬

○令和7年度の教員研究生が各自で設定した研究主題に基づき、1年間取り組んできたカリキュラム開発研究の具体的な内容とその成果を発表します。

大学院派遣研修報告会

開催時期: 令和8年3月上旬

○令和7年度の新教育大学大学院派遣、大学院設置基準第14条適用大学院派遣及び5つの教職大学院派遣の代表者が、1年間又は2年間で取り組んできた研究内容の報告を行います。

令和6年度 派遣者の声

新教育大学大学院派遣者

○東京を離れた2年間の学びの日々は、大変貴重な時間であると感じています。大学院における高度な実践研究は、自身の研究力・実践力の向上につながると考えます。また、様々な年齢、異なる地域の学生との交流から学ぶことも多く、多様なつながりを築くこともできます。理論と実践を往還できる教員を目指して、研修終了後も研さんに励みたいと思います。【高等学校教員】

大学院設置基準第14条適用大学院派遣者

○応用言語学やその研究の在り方等について、学びを深めることができました。大学院では、専門書等の読み込み、英語による英語教育に関する議論及びプレゼンテーションの実施や、修士・博士課程の先輩をはじめとする多くの研究者の様々な研究デザインを学ぶなど、貴重な経験をしました。【小学校教員】

教職大学院派遣者

○多様な教育の在り方を学ぶことで、教員という職業のクリエイティブな一面を知ることができました。また、教員として知識を児童・生徒に伝えるだけでなく、自身も一人の学び手として成長し続けるとともに、変化する教育環境や児童・生徒のニーズに応じて柔軟に対応する力が養われたと感じています。【特別支援学校教員】

東京都教員研究生

○自身の研究に加えて、今日の教育課題についての理解を深めるとともに、教育行政の業務を理解することができました。「全体研修」では、様々な職層の方の講義を通じて、研修センターの役割や多角的な視点・考え方を学ぶことができました。様々な校種で同じ志をもつ仲間と学び合える1年間です。【中学校教員】

「大学院派遣研修・教職大学院派遣研修報告書」及び「東京都教員研究生カリキュラム開発研究報告書」は、こちらをご覧ください。

<https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/09seika/index.html>

【問合せ先】 東京都教職員研修センター研修部教育開発課 東京都文京区本郷1-3-3

電話: 03(5802)0307(大学院派遣研修) 03(5802)0319(教員研究生)



研修番号3201~3203 大学院派遣研修  
研修番号3204 東京都教員研究生



東京都の教育を  
けん引する  
魅力ある教員を  
目指しませんか

~令和8年度長期派遣研修の募集~  
【リーダー養成研修】

募集開始時期

大学院等派遣

令和7年4月上旬から

東京都教員研究生

令和7年5月中旬から

- 派遣期間中も東京都の教員としての身分が保障され、給与等が支給されます。
- 長期派遣研修の修了者は、中堅教諭等資質向上研修Ⅰの一部単位に読み替えが可能です。
- 教育管理職選考の一部が免除されます。

学校を離れ、大学院や東京都教職員研修センターで1年間又は2年間の研究・研修を行い、最新の指導技術を習得するなど、スキルアップができるまたとない機会です。

理論と実践の往還を重ねる中で、校種や専門の異なる仲間との学びから新たな気づきが生まれ、教育に対する考え方が広がります。

東京都教育委員会は、次のような志をもっている教員を求めています。

- これまで培った教科等の専門性をより高めて、多くの先生方に広めたい。
- 学級経営や生活指導などに関する研究を行い、子供たちの学校生活をより充実させたい。
- 教育課程や学校経営に興味があり、学校において指導的な役割を果たしたい。
- 将来、指導主事や教育管理職になることを目指して、教育行政や教育法規などを学びたい。



東京都教職員研修センター

研修番号	3201	3202	3203	3204
派遣研修名	新教育大学 大学院派遣研修	大学院設置基準第14条 適用大学院派遣研修	教職大学院派遣研修	東京都教員研究生
募集時期	令和7年4月上旬から 新教育大学大学院派遣研修・大学院設置基準第14条適用大学院派遣研修・教職大学院派遣研修への応募者は、 東京都教員研究生にも応募(併願)することが可能です。		令和7年4月上旬から	令和7年5月上旬から 大学院派遣選考(3201・3202・3203)に合格した場合、東京都教員研究生の選考を受験することは できません。
応募締切	令和7年5月中旬		令和7年5月下旬	令和7年7月下旬
目的	教科等及び教育課題における高い専門性や識見を身に付けた、 指導的役割を果たせる教員を育成する。		確かな指導理論と優れた実践力や応用力を身に付けた、 指導的役割を果たせる教員を育成する。	学校経営や学習指導等についての高い専門性を 備えた、指導的役割を果たせる教員を育成する。
期間	2年間	2年間(派遣期間1年間)	1年間	1年間
派遣先	○上越教育大学大学院 ○鳴門教育大学大学院 ○兵庫教育大学大学院 ※派遣者が3大学院の中から、いずれかの派遣先を志望することができます。	○大学院設置基準第14条を適用している 大学院、教職大学院 ※派遣者が全国の適用大学院から派遣先を志望することができます。	○創価大学教職大学院 ○玉川大学教職大学院 ○帝京大学教職大学院 ○東京学芸大学教職大学院 ○早稲田大学教職大学院 ※派遣者が5教職大学院から、いずれかの派遣先を志望することができます。(派遣先が第1志望とならない場合があります。)	東京都教職員研修センター
募集人数	1人程度	3人程度	30人程度	15人程度
主な研修内容	○2年間にわたり所属校を離れ、研究・ 研修を行います。 ○派遣先の大学院が定めたカリキュラム 等に基づき研究・研修を行います。 ○修士又は教職修士(専門職)の学位 取得を目指します。	○1年目は所属校を離れ、研究・研修を 行います。 ○2年目は所属校で勤務をしながら、 夜間、週末、長期休業期間等を利用 して、研究・研修を行います。 ○派遣先の大学院が定めたカリキュラム 等に基づき研究・研修を行います。 ○修士又は教職修士(専門職)の学位 取得を目指します。	○1年間所属校を離れ、研究・研修を行います。 ○派遣先の教職大学院が定めたカリキュラム等に基づき研究・研修を 行います。 ・教育課程の編成・実施に関する事 ・各教科等の実践的な指導方法に関する事 ・生徒指導、教育相談に関する事 ・学級経営、学校経営に関する事 ・学校教育と教員の在り方に関する事 ☆選択科目等で自分の興味・関心のある分野を学ぶことができます。 ○学校教育に関わる課題解決を図る研究を1年間かけて行います。 ○教職修士(専門職)の学位取得を目指します。	○1年間所属校を離れ、研究・研修を行います。 ○東京都教職員研修センターが定めた研修計画等に基づき研究・ 研修を行い、教科等の専門性や学校教育のリーダーとしての 資質・能力を高めます。 ・教育課題研究(東京都の喫緊の教育課題に関する研究) ・カリキュラム開発研究(東京都の教育課題を踏まえ、各教員 研究生がテーマを設定して取り組む研究) ・実務研修(東京都教職員研修センターが実施する研修の運営等) ・全体研修(学校経営や教育課題等に関する研修) ○派遣者は月に1回程度、所属校を訪問し、研究・研修の状況を 管理職に報告します。
	<大学院派遣研修広報動画> <a href="https://youtu.be/u94jm0o0hzU">https://youtu.be/u94jm0o0hzU</a>	<教職大学院派遣研修広報動画> <a href="https://youtu.be/6ZxbaWlQnVk">https://youtu.be/6ZxbaWlQnVk</a>	<東京都教員研究生広報動画> <a href="https://youtu.be/iP39jgBk4IU">https://youtu.be/iP39jgBk4IU</a>	
費用 (学費等)	<b>原則自己負担</b> 検定料、入学金、授業料、現地での研修 に伴う旅行費及び居住に関わる費用等 は自己負担となります。赴任旅費、 通学交通費は都が負担します。	<b>原則自己負担</b> 検定料、入学金、授業料、研修に伴う 旅行費等は自己負担となります。 通学交通費は都が負担します。	<b>原則自己負担</b> 検定料、入学金、授業料、施設費、研修に伴う旅行費等は自己負担 となります。通学交通費は都が負担します。 選考結果等により、一定数の派遣者に対して、学費の一部(検定料、 入学金、授業料、施設費)を都が負担します。 ※都が学費の一部負担を行った者が、派遣研修修了後から5年に達 するまでの期間内に離職した場合は、条例により都が負担した費用 を返還が求められます。	<b>研修に関わる自己負担なし</b> 研修費用、通勤交通費は都が負担します。
主な応募資格	○主幹教諭、主幹教諭(養護)、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭である者 ○修士課程等の修学にふさわしい教育実践、研究実績を有する者 [例]東京都教育研究員、教育課題等研究開発委員会委員、東京教師道場部員・ リーダー、各学校や区市町村においての研究を指導的立場で推進した者など ○教職大学院派遣研修(3203)を出願しない者 ※新教育大学大学院派遣研修(3201)と大学院設置基準第14条適用大学院派遣 研修(3202)とは、併願することができます。 ※令和7年度の教育管理職選考との併願はできませんが、派遣期間中に教育管理職 選考を受験することは可能です。	○主幹教諭、主幹教諭(養護)、指導教諭、主任教諭、 主任養護教諭、教諭、養護教諭である者 ○昭和58年4月2日以降の出生の者 ○令和8年3月31日現在、国公立学校(大学及び高等専門学校 を除く。)の正規任用としての教職経験を通算して7年以上有し、 そのうち東京都立学校での教職経験(臨時的任用を除く。)を 3年以上有する者 ○新教育大学大学院派遣研修(3201)及び大学院設置基準第 14条適用大学院派遣研修(3202)の出願を行わない者 ※令和7年度の教育管理職選考との併願はできませんが、派遣期 間中に教育管理職選考を受験することは可能です。	○主幹教諭、主幹教諭(養護)、指導教諭、主任教諭、 主任養護教諭である者 ○令和8年3月31日現在、国公立学校(大学及び高等専門 学校を除く。)の正規任用としての教職経験を通算して9年以上 有し、そのうち東京都立学校での教職経験(臨時的任用 を除く。)を3年以上有する者 ※令和7年度の教育管理職選考との併願はできませんが、派遣 期間中に教育管理職選考を受験することは可能です。	

\* 障害等で配慮が必要な場合は、出願前に志望する大学院に受験及び入学に関する確認をお願いします。出願書類を提出する前に、必ず東京都教職員研修センター研修部教育開発課大学院派遣研修担当まで御連絡ください。

\* 出願時に各大学院の出願資格及び出願要件に該当するか御確認ください。選考後は、各自で大学院を受験します。試験日程・内容に関しては、各大学院の募集要項などを御覧ください。